

第3回シンポジウム

医療と

ジェンダーの歴史

研究会

Medical and Gender History Research Group

9/28(土)・29(日)

開催場所

奈良女子大学総合研究棟
文学系N棟 N302 講義室

9月28日(土)

13:00~14:30

藤本 大士 (ハイデルベルク大学 助教)

「1910~1940年代におけるアジア人女性の
日本医学留学：沖縄・植民地・ハワイ」

15:00~16:30

目黒 茜 (筑波大学 助教)

「戦前期日本の女医と予防医学
——「家庭医」を基軸として」

9月29日(日)

10:30~12:00

姜 姍 (国際日本文化研究センター 外国人研究員)

「江戸時代の女性の養生術：
浮世絵に見る灸治療を中心に」

13:00~14:30

曾 璟 蕙 (アジア・ジェンダー文化研究センター 協力研究員)

「植民地期台湾における女性の身体管理と医療言説：
史料にみる公衆衛生と近代化の影響」

※当日参加は原則受け付けておりません

主催 医療とジェンダーの歴史研究会 (代表 鈴木則子 (奈良女子大学))
科研基盤研究C「江戸時代の医療とジェンダー～女性医師の活動実態分
析から考える」(研究代表者 鈴木則子)

お申込は
こちら

要事前登録 9月27日(金)15:00 締切

QRコードが読み込めない場合はこちらから
<https://forms.gle/Fmh8EdVveXQQP5jW7>

